

## 第三者意見・第三者意見を受けて

### SOMPOグループのCSR・サステナビリティへの取組みに対する第三者意見

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]  
代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人

#### 川北 秀人氏

IIHOE:「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。  
<http://blog.canpan.info/iihoe/> (日本語のみ)



当意見は、SOMPOホールディングスのホームページ上のCSR・サステナビリティ関連ページの記載内容、22年8月発行の統合報告書、およびSOMPOケア、損保ジャパンの総務、人事、CSR・サステナビリティ、社会貢献の各部門の担当者へのヒアリングに基づいて、2021年度までの実績および2022年度内(22年11月末まで)に実施中の取組みについて執筆しています。

同社グループのCSR・サステナビリティへの取組みは、従来からの実践に加えて、中長期的な重要課題に対する方針が定義されており、今後は社外の多様なステークホルダーとの連携を拡充して、ビジネスモデル開発を含む社会課題解決や価値創出を進めるべき段階にあると言えます。

#### 高く評価すべき点

- 企業パーパスの実現に向けた経営について、社会に提供する価値3項目を明記し、その実現の原動力が従業員自らの志(MYパーパス)にあり、その確認と共有を進めつつあること。また、パーパス実現に向けたKPIを設定し、その進捗を開示していること。今後は、同社が向き合う社会課題をより明確に見通すとともに、温室効果ガス削減や人権尊重など、社会的な価値についても、各職場における実践や、顧客に対する事業としての価値創出に結びつくようKPIの項目を拡充するとともに、代理店などヴァリューチェーン内の重要な取引先に対しても、環境や人権などCSRの基本的な事項に関する取組みを促す働きかけが進むこと、テーマパークというプラットフォームで、多様な企業やNPO/NGOとの協働によるソリューションの開発・提供・進捗が促されることを、引き続き期待します。
- 介護・シニア事業における社会的な価値創出が期待される取組みについて、リアル・データ活用をビジネスとして他社や政府への展開を進めつつあること。今後は、得られた情報による各利用者へのサービスの最適化や従業員の働きがいの向上についても定量的に把握し、介護事業者のみならず、利用者や従業員にとっても有益なプラットフォームとなるよう、進化を期待します。また、グループの強みと連動して、介護・シニア領域における保険やリスクコンサルティング、とりわけ自然災害や感染症などに対応するBCP/BCMの立案や人材育成をはじめとする、リスクへの備えの事業化が、他社に先駆けて進められることを、引き続き強く期待します。

#### 取組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

- 気候変動の緩和と適応について、社内において帳票類の見直しなどにより紙の使用量を継続的に削減していること、再生可能エネルギーの導入を進めていること、顧客に対しても投融資先のGHG排出量の削減目標を定め、リスクコンサルティングや農業保険・天候インデックス保険、石炭火力発電所および炭鉱開発への新規保険引き受けおよび投融資の停止など、気候変動によるリスクと機会への対応を進めていること、環境問題に関する公開講座や生き物の保全活動など、市民社会と連携したプログラムを長期にわたって継続していることを評価しつつ、今後は、国内において、政府が掲げた2030年までの温室効果ガ

ス排出量46%削減(2013年比)達成のために、グループ各社や代理店への波及、顧客における再生可能エネルギー導入や事業効率化、断熱などの支援、そして紙の調達先における生物多様性などの保全をはじめとする取組みの拡充を、引き続き強く期待します。また、国内外において、エコ安全運転や脱炭素投資を金融・保険面で支えるとともに、その前提となる視野として、2050年代の世界・顧客・自社の状況を具体的に認識するために、TCFDにおける想定シナリオを定量的かつより精度の高いものとするとともに、TNFDへの備えも進め、業種別に想定シナリオ策定を支援するサービスの強化をはじめとして、グループの大きな強みである代理店やパートナー企業、NPO/NGOとの積極的な連携によってサービスが進化することを、引き続き強く期待します。

- 人権への取組みについて、グループ人権尊重ポリシーにもとづくグループ内の人権マテリアリティ評価にもとづき、従業員の健康・安全、長時間労働をはじめとする重点課題を特定して取組みを進めつつあること、事業としてコンサルティングを伴う保険サービスが開発されたこと、SOMPOケアにおいて職場環境調査が実施されたことを評価しつつ、今後は、損害保険をはじめとする取引先の「人権トランスフォーメーション」や「人権尊重(侵害予防)金融」を促すために、事業における人権リスクのデュー・ディリジェンスや負の影響の回避、発生時の救済について、影響が大きいと想定される業種から順次開発するとともに、ラグビー・フレームワークを自社として実践すること、また、社会との接点の多元性に鑑み、優越的地位となる場面も多様であることから、自社ならびに代理店の役職員対象の育成の機会が増えることを、引き続き強く期待します。
- 人的多様性に配慮・対応した事業・組織運営について、損保ジャパンにおいて高齢者・障がい者への対応の手引きにもとづく対応を進めるとともに、人材コアヴァリューを定義し、88のグループキーポストについてサクセッションプランを策定したことを評価しつつ、今後も引き続き、グループ全体の長期の人的ポートフォリオ目標を明示し、未来の市場・経営環境に備える仮説を検証する研修など、グローバルに活躍する次世代の幹部管理職層を育成する体制の拡充や、障碍者をはじめとする人的な少数者が経験や知恵を共有し、ライフステージに応じた相互支援ができるコミュニティの形成が促されることを、引き続き強く期待します。また、国内の外国人のみならず、認知症や障害を持つ方への対応としても、やさしい日本語の活用が進むことを期待します。
- 従業員の健康の維持・向上と働き続けやすい職場づくりについて、育児・介護・看護などのための休職・短時間勤務や在宅勤務制度を利用する従業員の比率が25%に達していることを評価しつつ、今後は、勤続年数の男女差が合理的と言える水準まで縮小するよう、若い女性の疾患予防・体調管理を支援することを引き続き強く期待します。
- 文化・芸術領域での社会貢献活動について、美術館運営やワークショップ開催など多様な機会づくりを評価しつつ、今後は、美術・芸術・文化と金融との接続、さらには、企業をはじめとする美術館運営者にとつてのプラットフォーム機能の開発・提供も視野に入れて、取組みが進化することを期待します。

### 第三者意見を受けて

グループCSuO 執行役  
下川 亮子



SOMPOのパーパス実現に向けた当社グループの社会課題解決の取組みに関して、川北様にご評価とともに改善やさらなる向上に向けた期待およびアドバイスを頂戴したことに、あらためて御礼申し上げます。川北様には、2001年からレポートに関する第三者意見を執筆いただいておりますが、外部環境や当社グループの取組みの変化を捉えた的確なご意見は、社内において具体的な議論を進めるのに大変有益であり、活用させていただいております。

今年度の第三者意見では、SOMPOが社会に提供する価値を明確化し、その実現に向けたKPIを設定し進捗管理を行う経営フレームワークに対して高い評価を頂戴いたしました。このフレームワークは当社グループの強みであり、各事業がお客さまやお取引先をはじめとするステークホルダーにしっかりと価値提供できるよう、さらに実効性を高めていきたいと考えております。一方で川北様にも期待として言及いただいたとおり、各職場における実践が極めて重要であると認識しています。グループ社員一人ひとりが自分事として捉え取り組めるよう、MYパーパスを起点としたパーパス浸透・カルチャー変革とも連動させながら、しっかりと取り組んでまいります。

今後の課題としては、保険事業を中心とする当社グループの重要なパートナーである保険代理店やパートナー企業等を巻き込んだ温室効果ガス削減、紙の調達における生物多様性への配慮などの環境課題への取組みの拡充や、関連サービスの進化についても取組課題として言及いただきました。当社グループにとってお客さまとの接点の起点となるのが保険代理店であり、社会課題解決の取組みに対する理解や共感を得ながら具体策を検討するとともに、パートナー企業のみならず対話を通じてよりよい社会の実現に向けて共に取り組んでまいります。また、近年日本企業でも取組みが進められている人権リスクへの対応についても課題として挙げていただきました。自社として人権リスクへの対応態勢を整備するだけでなく、リスクマネジメントの知見・ノウハウを活かした取引先の人権トランスフォーメーションを促すことも重要な責務であることをあらためて認識いたしました。すでにこの領域における商品・サービスの開発も進んでおりますが、業種別リスク分析などさらに踏み込んだ施策により、社会のトランスフォーメーションと当社グループの経済価値の獲得につなげてまいります。